

【第9問】

平成○年△月×日、東京都S区の工場跡地にて、AとBが複数の不良仲間たちが囲んだ半径2メートルほどの円の中で度胸試しの決闘をしていた。決闘は、はじめ素手同士での殴り合いにより為されていたものの、劣勢となったAは仲間が自分の足元に目掛けて投げた刃渡り12cmのナイフを拾い上げ、Bに対して突き付けた。

以下の問いに答えよ。(問いはそれぞれ独立したものである。)

- (1) これを見たBの親友であったXは、Bを守るため、Aを突き飛ばしたところ、Aの持っていたナイフが不良仲間のCの大腿部に刺さり、裂傷を負わせた。

この時、Xの罪責を検討せよ。

- (2) 目の前で興奮しているAを見て、身の危険を感じたBは、不良仲間Yを突き飛ばして逃げようとしたところ、Yは自分の身を守るため、Yを一発殴打した結果、Bは後頭部を強く打ち、死亡した。

この時、Yの罪責を検討せよ。

- (3) 身の危険を感じたBは、自分の生命・身体を防衛するため、足元に落ちていた棒のようなものを拾い上げ、Aをそれで殴ったところ、Bが拾い上げた棒のようなものは斧であり、切り付けられたAは死亡した。

尚、Bは足元に落ちていたものが殺傷能力のあるものだとは思っていなかった。

この時、Bの罪責を検討せよ。